

新潟大学災害・復興科学研究所との包括的連携に関する協定締結式を行いました (2020/3/26)

テーマ：包括的連携と相互の協力

会場：東北大学災害科学国際研究所 多目的ホール

令和2年3月26日(木)、東北大学災害科学国際研究所と新潟大学災害・復興科学研究所は、包括的連携に関する協定を締結しました。

当研究所は、2012年4月の設立以来、自然災害の解明と、東日本大震災からの教訓に基づく防災・減災技術の再構築をビジョンに掲げ、文系・理系の垣根を越えて、様々な研究・実践活動を行ってきました。震災関連資料のアーカイブ、地域防災計画策定のための検証活動、生活と健康に関する調査業務、科学的知見に基づいた防災教育支援など、防災・減災に関わる様々な試みを通じ、被災自治体の支援も行っています。

新潟大学災害・復興科学研究所は、日本海側地域に特有な雪氷災害、地すべり災害、地盤災害等の研究を推進することを目的として、1978年に設立された「積雪地域災害研究センター」を前身としています。2004年の新潟県中越地震に際し、中山間地域における自然災害からの復興支援策について多角的視野からの学術的研究を遂行したことを契機として、2006年に災害研究と復興科学研究を推進する「災害復興科学センター」が設立されました。さらには2011年4月に同センターを改組し現在の「災害・復興科学研究所」が設立され、自然科学から人文社会科学までの幅広い分野が連携した研究を実施し、その成果を広く社会に還元してきました。

これまでも、東北大学災害科学国際研究所と新潟大学災害・復興科学研究所は、中越地震の復興支援や震災伝承(語り部育成)についての共同研究やシンポジウム、復旧・復興過程の地域研究等で積極的な協働を行ってきましたが、このたび両者が包括的連携協定を締結することにより、震災復興、防災・減災対策とそれを支える防災教育等を、今後さらに効果的に進めていくことを目指すことになりました。

締結式には、新潟大学から河島克久 災害・復興科学研究所所長、卜部厚志 同副研究所長、中山亮 新潟大学研究企画推進部研究推進課長、萩原敬史 同課主任が出席されました。当研究所からは今村文彦 所長、伊藤潔 副研究所長、丸谷浩明 研究所長補佐、寺田賢二郎 研究所長補佐、曾根芳則 事務長のほか、江川新一 教授、蝦名裕一 准教授、佐藤翔輔 准教授も出席しました。司会の中鉢奈津子 特任助教が行いました。丸谷教授による趣旨説明の後、河島所長と今村所長が協定書に署名し、両所長が今後の抱負等を述べる挨拶を行いました。

今回の締結式は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、出席者がマスクを着用する等の対策を取って行われました。



協定締結式